

本翻訳はロシアNIS貿易会監修による仮訳である。  
2021年2月13日付「中立トルクメニスタン」紙第39号掲載の露文資料に基づく。

トルクメニスタン拡大閣僚会議  
アシガバード、2月12日 (TDH)  
(2021年2月13日付『中立トルクメニスタン』紙第39号)  
(抜粋)

本日、グルバングルイ・ベルディムハメドフ大統領は、拡大閣僚会議を開催し、そこで2020年の一年間および今年1月の行政の結果を振り返り、副首相、各大臣、各州知事から報告が行われた。また、国家の社会・経済成長に関する優先度の高い問題が話し合われ、今年の国民経済分野の鍵となる課題が明確にされた。

早朝、大統領は「オグズハン」宮殿からルヒエト宮殿へ移動し、そこで会議が行われた。会議には、議会役員、国家安全評議会のメンバー、各州、地方、首都の行政政府首脳、マスコミ役員、大学等の高等教育機関の学長、その他の団体の重役が招待された。

最初に大統領が、G.ムシシコフ内閣副議長（兼副首相）に発言を促した。ムシシコフ氏は、昨年のマクロ経済指標、国家予算の執行、あらゆる資金源からの投資の開拓、さらに大統領の指示に従って実施されている、国の今後の進歩的な社会・経済発展に係る包括的な措置について報告した。

経済構造における民間部門の地位の強化、中小企業の支援、国営企業の民営化および株式会社への変更の目的のために、昨年取られた措置について、報告された。

2021年1月の結果について、ムシシコフ氏は同月にGDPの伸び率が5.9%であったと報告した。製品の製造量は、昨年の同月と比べて4.1%増加しており、経済分野では安定した生産指標を達成している。

小売業の商品取引高は、2020年同月と比べると、17.8%伸びた。

先月の国の収入は計画の178.9%、支出は83.1%だった。

国内の大企業、中規模企業の平均給与は10.4%増加した。

今年1月には、新国家農村プログラムの枠組みの中で、105の公共施設、22万2,900平方メートル以上の住宅、そしてインフラ建造物が建設された。

また、「2021～2025年トルクメニスタンにおける企業の管理と改革のための国家からの援助を伴う戦略の承認について」の決定案が、大統領に提出された。

報告を聴いて、グルバングルイ・ベルディムハメドフ大統領は、提出された決定を承認、署名して、ムシシコフ氏にこの戦略の枠組みの中で計画された施策と業務を実現するため、絶え間なく統制していくようにと指示した。

その後、M.セルダロフ財務・経済大臣が、2020年および今年1月の国家予算の執行について報告した。

昨年1～12月の総決算では、国の歳入は計画の101%、支出は99.9%だった。

また、新国家農村プログラムの枠組みの中で、投資開拓計画が121.4%遂行されたということも、報告された。

2021年1月の状況では、国の収入は1.8倍増加し、支出は83.1%となっている。

今年の1月には、決算委員会の会議が7回開かれ、うち6回は地方の会議であった。

会計報告期間に、13の国有物が民営化された。

2021年1月の時点では、国家農村プログラムの実現の流れの中で、一連の建築物、インフラ建造物、そして4万4,700平方メートルの住居の建設が完了した。

トルクメニスタン国家委員会のS.ベルベゴフ統計担当委員長は、各省と地方機関による2020年と今年1月の目標の実施について、報告した。

昨年、産業部門でその前年よりも成長が見られたが、それには液化ガス16.7%、潤滑油11.7%、ポリエチレン83.5%、金属製品1.6%、プラスチックおよびグラスファイバーパイプ45.8%の生産増加も含まれる。

2021年1月の上記の産業部門の指標についての報告の際、ベルベゴフ氏は、昨年の同月は石油コークス58.7%、セメントの28.6%、プラスチックおよびグラスファイバーパイプ6.8%、そしてソーセージ・ハム類2.2%の生産増加があったと述べた。

またこの期間に、通信サービスの量が6.8%増加した。

農業部門では、今年1月、前年同月比で、野菜31.9%、肉2.6%、牛乳等3.7%、卵2%生産量が増加した。

また、会計報告期間に、民間経済部門も成功を収めている。

グルバングルイ・ベルディムハメドフ大統領の主導で、国の統計部門を近代化し、それをデジタルシステムに移行し、この方面に実証に基づいた世界の慣行を導入するための、しかるべき作業が進行中だ。

続いて、2020年と今年1月の所轄機関の活動の結果について、M.アンナドゥルディエフ中央銀行総裁より報告があった。

大統領の指示の観点から見ると、昨年は、多様化とデジタル化において、国民経済の発展の力強い動きを維持し、銀行部門を近代化し、キャッシュレス決済の量を増やし、金融調節のための作業が行われました。

今年1月に大統領により設定された課題に従って、国の信用機関によってしかるべき作業が実行されたことが述べられた。2021年2月1日の時点で、経済主体の財源に対する需要を満たすことを目的とした貸付の総額は、昨年と同じ日付と比較して11%増加した。

民間経済部門へ拠出された貸付の総額は、昨年と同じ指標を14.6%上回った。民間組織への条件の緩やかな銀行ローンの発行の伸び率は3.1%に達した。1,824件のプロジェクトに対して融資が行われた。

農産共同企業体で働く民間の生産者たちに、農業機械・設備の購入のために拠出された貸付金額の総額は、昨年と同じ指標と比較して33.5%増加した。

国民の社会・日常生活の質の向上を目的として、抵当権付貸付の業務は続いているということにも触れられた。

さらに、金融調節、投資の誘致、電子インフラの効果的な稼働のために取られている手段についても、報告があった。

その後、Sh.アブドラフマノフ内閣副議長が、2020年と本年1月の「2030年までの国家石油産業発展計画」の実施について報告した。

昨年、採掘計画は、石油・コンデンセートは100%、天然・随伴ガスは101%、石油精製は101.7%達成された。製造に関しては、ガソリン104.5%、ディーゼル燃料104.4%、ポリプロピレン102.2%、液化ガス116.7%であった。また「青い燃料」（天然ガス）の輸出量と投資の開拓についても言及があった。

今年1月、石油精製計画は100.8%、ガソリンは100.4%、ディーゼル燃料は103.4%、ポリプロピレンは102.5%、天然・不随ガスの採掘は115.9%、「青い燃料」（天然ガス）の輸出は110.6%、投資開拓は131.4%達成された。

また、石油とコンデンセートの採掘量、2D、3D地震探査法を利用した掘削作業についても報告された。

大統領は報告を聴き、この分野のさらなる近代化を進めるよう指示した。

参加者に対して、大統領は、トルクメニスタンの勇敢な先人たちがこの国の権威を高めるために全力を注ぎ、様々なものを作り上げてきたこと、そして彼らが消えることのない足跡を歴史に残してきたことを、述べた。

「そして我々は、偉大な先人たちを心から誇りに思い、彼らの栄光と威厳を永遠に後世に伝え続け、国民にも威厳を持って先人が築き上げてきたことを続けていこう。我々は、祖国を最も発展した国家にするために、多大なる努力をしているのだ」と、グルバングルイ・ベルディムハメドフ大統領は言った。

これらの目標に従い、大統領は言葉を続けた。「私たちは、創造的な労働によって社会を刷新しより高い発展の水準へ引き上げ、青少年に名誉ある先人たちへの誇りを教えるため、必要不可欠な仕事をしている。私たちは自分たちの偉大なるこの記憶に敬意を払い、後世に伝え続けるのである。」

我が国の著名な国民として名前を挙げるべき人々は、アルティ・カルリエフ、マヤ・クリエヴァ、ビヤシム・ヌラリ — 彼らは、演劇、映画、音楽芸術を代表する人々である。そして、伝統音楽の国民的歌手であるシュクル・バフシ、マフトゥムクリ・ガルリエフ、サ

ヒ・ジェプバロフ、トルクメニスタンの詩人・散文作家A.アガバエフとO.オダエフ。また、村落その他の昔ながらの名称も復活しつつある。

この関係において大統領は、トルクメニスタン議会に、国際石油ガス大学にヤグシゲルディ・カカエフの名を与えるかどうかの問題について審議するよう命じた。

大統領が強調したように、カカエフは我が国の著名な国家・社会活動家で、経験豊かな人物であり、また指導者である。まさに彼が、石油ガス部門の近代的な仕組み作りに多大なる貢献をしたのであり、その一つが国際石油ガス大学の創立と発展なのである。

B. オヴェゾフ内閣副議長（兼副首相）は、運輸・通信省とその関係機関の、2020年と今年1月の活動の結果について報告した。それによると、昨年のこれらの組織の生産計画は、123%達成された。

2021年1月の間に、これらの組織による生産計画は106.6%達成された。

「トルクメンデミルヨラリ（トルクメニスタン国営鉄道）」の伸び率は114.7%、「トルクメンアフトヨラリ（トルクメニスタン自動車運輸庁）」の伸び率は100.4%、「トルクメンデニズヨラリ（トルクメニスタン海洋・河川運輸庁）」の伸び率は102.2%だった。会計報告期間に、「トルクメンハボヨラリ（トルクメニスタン航空庁）」に関して、しかるべき作業が実施された。

自動車、鉄道、航空機、船舶による運輸および輸送量の分野の計画は、それぞれ104.6%、106.2%達成した。トルクメニスタン工業・通信省「トルクメンアラガトナシク」の伸び率は106.8%だった。

オヴェゾフ氏は続けて、「2019～2025年のトルクメニスタンにおけるデジタル経済発展構想」にある課題を実現するために、トルクメニスタン工業・通信省「トルクメンアラガトナシク」の専門家たちによって「2021～2025年のトルクメニスタンのデジタル経済発展国家プログラムの承認に関する」決定案が用意され、その決定案は大統領に提出された。

報告を聴いた後、グルバングルィ・ベルディムハメドフ大統領は、提出された書類に署名し、しかるべくインフラストラクチャの発展と強化に特に注意を払いながらデジタル化プロジェクトの実施に力を入れるよう、オヴェゾフ氏に具体的な指示を出した。

S h. ドウルディルィエフ内閣副議長（兼副首相）は、昨年および2021年1月の、管理の対象となっている分野の活動の結果について、またこの記念すべき年に建造物を導入するための投資計画の準備のための仕事、そして「化学製品の輸入、製造、販売活動のライセンス付与の規定の承認に関する」決定案の計画の投資プログラムの準備のために実施された作業について、報告した。

2020年1～12月で、建設・製造部門における製品製造とサービス提供の計画は118.4%実現し、伸び率は122.5%となった。

今年1月、同部門における製品製造と業務遂行の計画は、131.6%実現した。

建設・建築省によると、会計報告期間中に、実施された作業の計画が106.2%実現し、また

その際の伸び率は102.4%であった。

今年1月、工業・建設省が、製品製造および作業の実施の計画を、120.4%実現した。伸び率は120.6%であった。

エネルギー省によると、電気エネルギーの生産計画が108.2%実現し、その際の成長スピードは106%であった。電気エネルギーの輸出計画は127.7%実現し、伸び率は112.9%であった。

同期間で国家コンツェルン「トルクメンヒミヤ」によって、製品製造とサービス提供の計画は177.2%実現され、その際の伸び率は148.6%であった。

アシガバード市役所によると、実施された作業および提供しているサービスの計画が114.4%実現した。

ドウルディルイエフ氏はまた、2021年に建設プロジェクトの試運転のために開発された投資プログラムの草案と、「化学製品の輸入、生産、販売のライセンス活動に関する規則の承認について」の決定案を、大統領に提出した。

報告を聴いた後、グルバングルイ・ベルディムハメドフ大統領は、現行の国内法への改正と追加の導入を規定した新しい規則を、時期を見極めて採択することを強調した。

当該の決定に署名した後、大統領はドウルディルイエフ氏に、その内容をしっかりと実施するよう、具体的な指示を出した。

本年の建設プログラムは、その枠組みの中で多くの作業が待ち受けているが、このプログラムの問題に触れ、大統領は全ての資金源からの投資額が400億マナト近くになっていることに言及した。これらの資金は、工場、病院、医療センター、メディカルビル、幼稚園、学校、文化会館、行政中心地、新たな集落、家屋の建設と修繕を目的としている。

この関係で、大統領はドウルディルイエフ氏に、工業および社会施設、特に我が国の神聖なる独立30周年記念に向けて首都で稼働開始予定の施設の建設行程を、厳格に管理するよう指示した。

建設の質に最も注意を集中させるよう命じた後、大統領は、全ての作業は国の産業化、経済の持続可能な発展のためのデジタルシステムへの移行、最新の機材と技術、革新的な産業構造の創設を考慮して実現されなければならないと、強調した。

2021年の投資計画の承認に関する決定に署名した後、グルバングルイ・ベルディムハメドフ大統領は、ドウルディルイエフ氏に、その計画の中で示された課題を遂行するよう、しかるべく指示を与えた。

Ch.グイリジョフ内閣副議長（兼副首相）は、以前に大統領から与えられた指令の遂行について、また2020年と今年1月の管理の対象となっている商業および繊維工業部門、企業部門の結果について、報告した。

グイリジョフ氏は、2月5日に開催されたデジタルビデオ通信の作業会議で大統領がショッピングセンターに課した課題を遂行するため、生産力を最大限に利用し、デジタルシス

テムおよび最新の科学と技術が達成したものを広く取り入れ、国内市場と輸出用に国産製品の生産を増やし、そして業界と金融・経済状況の体系的な分析と収入を増加させるための措置が取られているということを報告した。

商業・貿易省によると、今年1月の貿易量の伸びは、昨年1月と比較して110.2%、生産の伸び率は111.5%である。

繊維工業省の関係企業によって生産された木綿糸と布を含む製品の量の伸び率は、それぞれ117.1%と101.8%、縫製品、メリヤス製品は123.2%。革製品は105%であった。

国営公社「トルクメンハリィ」の製品生産計画は、106%達成された。

トルクメニスタン国営商品・原料取引所により、1月に24の売買取引セッションが行われ、2,434件の契約が結ばれた。

商工会議所によると、実現した案件の伸び率は116.8%だった。

産業家・起業家連盟によると、農産物と食糧品生産の伸び率は1月で155.6%、工業製品は101.3%だった。

その後、2020年と2021年1月の、独立して中立的な祖国の対外政策の首尾一貫した実施という文脈における、外務省の活動の結果について、R. メレドフ内閣副議長兼外務大臣（兼副首相）が報告した。

昨年、大統領はアゼルバイジャン共和国を公式訪問し、また我が国を実務訪問したカザフスタン共和国の首相とも会談を行った。また昨年、大統領はオンラインで一連のハイレベルな会談やフォーラムに参加し、また第75回国連総会でビデオメッセージにて発言した。

グルバングルィ・ベルディムハメドフ大統領は、国連事務総長および各国首脳と電話会談を行い、共通の利益を満たす、二国間および多国間の協力の優先課題について話し合った。

2021年の結果の報告に際して、メレドフ氏は、先月開催された出来事の重要性を強調した。それは、アフガニスタン・イスラム共和国のアキナ～アンドホイ間の30キロメートルの鉄道の区間、ケルキ（トルクメニスタン）～アンドホイ（アフガニスタン）間の長さ153キロメートル・電圧500キロボルトの電線、またイマムナザル（トルクメニスタン）～アキナ（アフガニスタン）およびセルヘタバト（トルクメニスタン）～トゥルグンディ（アフガニスタン）の国際的な光ファイバー通信システムのトランジットが稼働したことである。

もう一つ重要な出来事は、トルクメニスタン、アゼルバイジャン共和国両政府間で、カスピ海にあるドストルグ鉱床炭化水素の共同探査、採掘、利用についての相互理解に関する覚書に署名がされたことである。この重要な書類の署名式典は、古くから友好的で善隣の国境を越えた関係のレベルの高さを反映しており、ビデオ生中継により両国の首脳－グルバングルィ・ベルディムハメドフ大統領とイルハム・アリエフ大統領が参加した。

1月29日、国連総会の関連決議によって宣言された、平和と信頼の国際年が公式に始まった。これは、トルクメニスタン大統領の主導で採択されたものである。この行事の記念式典は、外務省付属国際関係大学で開催された。

メレドフ氏は報告の中で、大統領に、次の決定案を提出した。トルクメニスタン独立30周年および永世中立25周年について、また2021年の標語「トルクメニスタン—平和と信頼の祖国」の宣言に際する国際会議、祭典、行事の開催に関する決定案。2021～2030年のトルクメニスタンの貿易戦略の承認に関する決定案。「輸出入業務のための統一窓口」システムの作業調整に係る各省合同の委員会の創設に関する決定案。

報告を聴き、提出された決定に署名してから、大統領はメレドフ氏に、これらの決定を実現するよう具体的な指示を出した。その指示には、予定された全ての行事の高いレベルでの開催を保障することも含まれている。

その後、E.オラズゲルディエフ内閣副議長が、管理の対象となっている部門の2020年および今年1月の活動結果について、また農業の改革と各地域の季節性の畑仕事について、報告した。

昨年、農業省と農産共同企業体の問題を管轄する国の機関によると、生産の伸び率は2019年と比べると104%であった、ということに言及された。投資開発計画は、120.4%達成された。

今年1月、農産共同企業体に関しては概して、商品生産、実施された作業およびサービスの伸び率は昨年1月と比べて104.2%だった。農業・環境保護省の同指標は104.3%、国家水管理委員会は103.6%、国営公団「トルクメン・アトラリィ」は104%だった。投資開発計画は125.2%達成された。

また、現在綿花栽培業者が春の種まきに向けて準備していることに言及があった。家畜の頭数を増やし、畜産業者に飼料が行き渡らせるため、昨年の秋に3万5,000ヘクタール分の飼料用作物の作付を行った。

報告を聴き、グルバングルィ・ベルディムハメドフ大統領は、「2021年トルクメニスタンにおける樹木の栽培」の決定と、2021年の州と地方による水使用制限の承認に関する命令にも署名した。

その後、会議の参加者たちに対して、グルバングルィ・ベルディムハメドフ大統領は、昨年実行された作業の結果について述べた。大統領によると、昨年は我々全員にとって辛く困難な年であった。しかし、世界経済の危機の中にあるにも関わらず、我が国の国民の必死の努力の結果、「トルクメニスタンは中立の祖国である」という標語のもと、2020年は、大きな成功を収めた。

大統領が強調したように、我々は国内経済の高い伸び率を維持してきた。昨年、GDPの伸び率は5.9%であった。うち工業は3.3%、貿易は15.1%、交通・通信分野は4.7%の伸び率であった。

約1万2,000の新規雇用が生み出された。上記の分野において、マナトの為替も維持された。我が国の国力と競争力を上げていく中で、新しい前進であった。国の経済の基本的な構造と分野は、安定的に発展している。

上記のプログラムの枠組みの中で、建設の分野に380億米ドル以上投資されたと、大統領は

話を続けた。昨年、全ての資金源から45の産業用および公共建築物の操業のために合計約80億米ドルが融資された。

昨年、我が国の勤勉な農業従事者の皆さんにより、豊富な農作物を栽培、収穫された。小麦約150万t、綿花120万t以上が収穫され、これにより国内で食糧の安定供給ができたこと、大統領は強調した。

可決された国家プログラムの実施の過程で、我が国の市や村、そして概して国の外観も、元の姿から大きく変化している。国家農村プログラムの枠組みの中で、必要なインフラを全て備えた村落の建設が続いている。

昨年、合計面積200万平方メートル分の家屋が建てられ入居可能となり、その中には高い快適性の居住空間のものも含まれると、グルバングルィ・ベルディムハメドフ大統領は述べた。これで、低収入世帯も含め、数千世帯がそこへ入居できるようになった。

科学、教育、教育学のシステムの発展においても、新しい段階が始まった。大人数の幼稚園が建設され、最新機器を備えた教育機関、保健・文化・スポーツセンターが開設された。しかし、大統領が強調するのは、重要なのは国民生活の社会的・日常的レベルが上がってきており、彼らの明日への自信がついてきているということだ。社会ではますます民主主義と公開性の原則が確立されてきている。経済の変革と市場への移行に関する計画的な作業が続いている。

大統領が断言したところによると、今年は十分な予算が取られ、再び給与、年金、手当の額が上がったとのこと。

会議の参加者たちに向かって、グルバングルィ・ベルディムハメドフ大統領は、毎年国の活動に関して何らかの標語が設定されると述べた。宣言された今年の標語「トルクメニスタン—平和と信頼の祖国」は、大きな意味を持っている。

これについて述べつつ、大統領は、国民の愛国心を鼓舞すること、国の今後の発展のための諸々のプロジェクトやプログラムを実現すること、国の経済的ポテンシャルを強化すること、国民の社会・日常生活の質の向上が重要だと強調した。

これについては全て、我々一人一人が大きな責任を負っている。そして、標語に違わぬよう、我々はたくさん、そして懸命に働かなくてはならないのだ。

大統領はさらに、次のように述べた。最近行われた特別作業会議で、2020年の全ての分野の活動結果が見直され、不十分な部分を削除するための手順が計画された。そして今、作業の改善のために行政がやるべき次の課題は、与えられた指示と計画された対策を短期間で実行することである、と。

国のより良い発展のために、我々には新しいプロジェクト、新しいアイデアと管理ソリューションが必要だ。グルバングルィ・ベルディムハメドフ大統領は、全力で取り組む必要があることを強調し、それはつまりできるだけ多くのイニシャチブを発揮することであると述べた。

今後、我々は、輸入製品に代わる製品の生産量を増加させ、国内の無数にある天然資源を



活用し、これらの素晴らしい可能性を効果的に利用していかなくてはならない。

今年の行政全体の主要な課題の中で、大統領はまた、国民生活の質の向上、国民の収入の増加、新しい雇用の創出、そしてできるだけ多くの投資の誘致の重要性について指摘した。